C-22 シリーズ

Premium Brewing System

取扱説明書

C-22

C-22 サーモブルーワー

目次

- 安全上の注意（必ずお読みください） ····· 3
- 各マシンの仕様について ····· 6
- 準備する まず、確認を！ ····· 7
- マシン各部の名称 ····· 8
- 各部の名称と働き ····· 10
- オープニング作業 ····· 12
- 抽出の手順 ····· 13
- ウォーマー（保温プレート）の操作 ····· 14
- クローズ作業 ····· 16
- プログラミング方法 ····· 17
- プログラミング項目 ····· 18
- 各プログラミング項目の設定について ····· 19
- エラー表示 ····· 24
- 故障かな？ ····· 25
- 保証とアフターサービスについて ····· 26
- 保証書 ····· 27

安全上のご注意　（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明

警告　この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意　この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

一般的な注意事項

警告

■ 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。
水漏れや感電や火災の原因となります。

■ 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくは　サービスセンターに連絡をして下さい
（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）

■ 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。　火傷や感電の原因となります。

■ この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。
そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。

■ 本体が水に濡れた場合や付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って
引火や爆発の危険を避けてください。

■ 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、また、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。

注意

■ 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。
電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。

■ 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行なってください。　感電や火傷怪我の原因となります。

■ 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意をして下さい。　また、電源コードに人や物が絡まったり，つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。
感電や火災や怪我の原因になります。

■ 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。　また電源プラグをコンセントから抜いてください。
専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。

■ 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。

■ 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。

■ 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。

■ 部品の取付け、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。

■ コードやプラグが傷んでいる場合や正常に動かない時には作動をさせないで下さい。

■　付属品以外のものを使用しないで下さい。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。

■　野外では使用しないで下さい。

■　電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。

■　ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないで下さい。

■　最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。

■　マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。

■　本来の目的以外には使用はしないで下さい。

■　お湯が抽出されている時には十分に注意をして下さい。火傷や怪我の原因となります。

■　このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

⚠警告

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所、又は、訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

■　本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。

■　製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。

■　据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。

■　電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。又、接続する前にマシンの規格が供給される電源に適応していることを確認してください。

■　電源装置には、保護装置(20A　漏電遮断機)が設置されていることを確認して下さい。

⚠注意

■　設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。

■　据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。　不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。

■　天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。

水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。

■　設置周辺温度が45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには　設置をしないで下さい。

内部の電気部品などの故障の原因となります。

■　本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。　熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

■　水道に直結する場合には0.5 メガパスカル (Mpa).以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。

軟水装置もしくは浄水器を使用することをお勧めします。

使用環境条件

気温: 5 – 45 ° C (凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。)

湿度: 80% 以下

硬度: 5° eh, 7° dH, 13° Fh

■　(注)お湯では無く必ず水を給水してください。

■　(注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

操作を行なう時の注意事項

⚠警告

■ 給湯フォーセットは熱くなっていますので注意して取扱いを行なってください。火傷や怪我の原因になります。

■ 顔や手に熱湯がかからないように常に注意をして取扱いを行なってください。

■ スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。

■ コーヒー抽出口やコーヒーを入れる容器の洗浄は規定どおりに実施してください。

洗浄を行なわず放置しておきますと細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

使用時とメンテナンス時の注意点

■ マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なって下さい。

■ 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。

■ 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままでマシンを放置しないで下さい。

■ 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。

■ 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出口やブルーイングコーン、デカンター、ポット等容器の洗浄を実施しないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

各マシンの仕様について

C-22 200V	寸 mm（幅×奥行×高さ）	W235 × D540 × H655
	使用電源	単相 200V　20A
	電気容量	3950W　19.8A
	ヒーター仕様	200V 3600W
	タンク容量	6L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	仕様シャワーヘッド	パープル
C-22 100V	寸法 mm（幅×奥行×高さ）	W235 × D540 × H655
	使用電源	単相 100V　15A
	電気容量	1260W　12.6A
	ヒーター仕様	100V 960W
	タンク容量	6L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	仕様シャワーヘッド	パープル
C-22 Thermo	寸法 mm（幅×奥行×高さ）	W232 × D515 × H781
	使用電源	単相 200V　20A
	電気容量	3160W　15.8A
	ヒーター仕様	200V 3075W
	タンク容量	11L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	仕様シャワーヘッド	パープル

※ コーヒーマシンは、水道直結の仕様となります。

準備する　製品の据付は認定されたサービスマンが行います。

1. 設置する。

次のような場所に置いてください。

●床に防水処理がされている場所

●熱気・直射日光の当たらない場所

●湿気が少なく、風通しの良い場所

●平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所

●電源プラグが掃除しやすい場所

●放熱スペースを確保できる場所

（左右 10cm以上、後方　10cm以上、上 30cm以上）

2. コーヒーマシンを固定する。

調整脚を回してコーヒーマシンが水平になるよう調整する。

3. 給水を接続する。

コーヒーマシン背面の給水口に給水ホースを接続する。水漏れしていないか接続を確認する。

4. 電源コンセントに差す

C-22　200V/サーモブルワー　　:AC200V、20A を使用する。

C-22　100V　　:AC100V、15A を使用する。

まず、確認を！

□上に物を置いていませんか？

ウォーマーは 100℃を超えて熱くなります。

□次のような場所に置いていませんか？

熱気・直射日光の当たる場所

不安定で傾いたところ

湿気が多く、風通しの悪い場所

電源プラグが掃除しにくい場所（ほこりがたまり、発火の原因に）

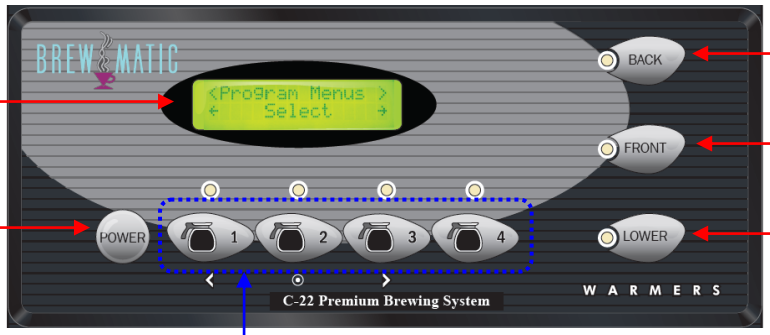
□放熱スペースは空いていますか？

□湿気の多い、水気のある場所ではアースや漏電遮断器をつけていますか？

調理場など、どうしても湿気・水分の多い場所に置くときは、必ずアースや漏電遮断器の取り付けをお願いします。

C-22　200V / 100V （デカンタータイプ）

操作スイッチパネル



出荷時の標準抽出湯量について

本製品は、出荷時に下記の湯量に設定しております。

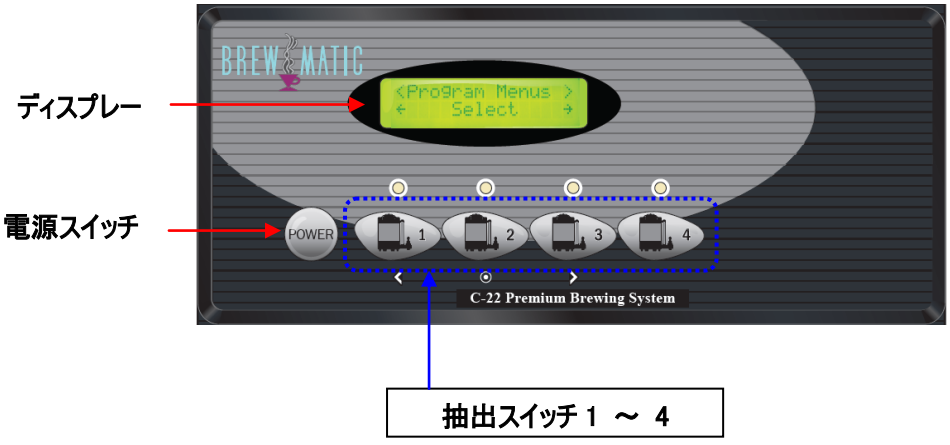
（※設定する湯量は、予めお客様に合わせた湯量設定、または設置場所の水圧によって変動する場合がございます。）

抽出ボタン	抽出スイッチ 1	抽出スイッチ 2	抽出スイッチ 3	抽出スイッチ 4
標準設定湯量	1800cc	1500cc	900cc	600cc

使用しない抽出スイッチが有る場合は、プログラムモードの Coffee by Time(19 ページ参照)と Coffee Drip-Out(21 ページ参照)の設定を 0 にして下さい。

C-22 サーモブルーワー （ポットタイプ）

操作スイッチパネル



出荷時の標準抽出湯量について

本製品は、出荷時に下記の湯量に設定しております。

（※設定する湯量は、予めお客様に合わせ湯量設定している場合、または設置場所の水圧によって変動する場合がございます。）

抽出スイッチ	抽出スイッチ 1	抽出スイッチ 2	抽出スイッチ 3	抽出スイッチ 4
標準設定湯量	5000cc	3600cc	1800cc	900cc

使用しない抽出スイッチが有る場合は、プログラムモードの Coffee by Time(19 ページ参照)と Coffee Drip-Out(21 ページ参照)の設定を 0 にして下さい。

各部の名称と働き

電源スイッチ　・・・・・・・・・・・・・　コーヒーマシンの電源を入れるスイッチです。
抽出スイッチ 1　・・・・・・・・・・・・・　設定されているお湯を抽出するスイッチです
抽出スイッチ 2　・・・・・・・・・・・・・　設定されているお湯を抽出するスイッチです
抽出スイッチ 3　・・・・・・・・・・・・・　設定されているお湯を抽出するスイッチです
抽出スイッチ 4　・・・・・・・・・・・・・　設定されているお湯を抽出するスイッチです
下ウォーマースイッチ　・・・・・・・・・　下のウォーマー（保温プレート）のスイッチです。
　尚、OFF の状態でも抽出する毎に自動でスイッチが ON されます。
上手前ウォーマースイッチ　・・・・・　上手前のウォーマー（保温プレート）のスイッチです
上奥ウォーマースイッチ　・・・・・・・　上奥のウォーマー（保温プレート）のスイッチです

ディスプレー　・・・・・・・・・・・　様々な状況を表示します　（タンク内温度、現在の状態、エラー表示など）
給湯フォーセット　・・・・・・・・・・　お湯を取り出す蛇口です
　（**タンク内のお湯を取りますので、抽出中は使わないで下さい。**
　湯量の変動や温度低下の原因となります）

ラッチ機能　・・・・・・・・・・　オペレーターの方が安全にお使いいただくために、抽出中はコーンロックが下りて
　ブルーイングコーンが　抜けないようにロックする機能です。

シャワー口・・・・・・・・・・・・・・・・　抽出ボタンを押した時、設定した量の湯が出ます。(21 穴のシャワーヘッド取り付け)

オーバーフロー出口・・・・・・・・・　マシンに異常な給水が発生した場合、タンク内から溢れた水（湯）を排出します。

抽出する時に使用する付属品

C-22 デキャンタ タイプ

ブルーイングコーン （付属品） ・・・・・・・・ フィルターを敷きコーヒー粉を入れる容器

ガラスデカンター （C-22 デカンタータイプ 標準付属品） ・・・・・・・・・ コーヒーを受ける容器

ステンレスデキャンター（別売り） ・・・・・・・・ コーヒーを受ける容器 保温性に優れ、熱源無しで一定時間保温できます。

ブルーイングコーン

ガラスデキャンター

ステンレスデキャンター （別売り）

C-22 サーモブルーワー

ブルーイングコーン （付属品）・・・・・・・ フィルターを敷きコーヒー粉を入れる容器

3.8 リットルポット（別売り）・・・・・・・・・・・・ 3.8L コーヒーのポット。真空魔法瓶なので熱源無し一定時間保温できます。

5.6 リットルポット（別売り）・・・・・・・・・・・・ 5.6L コーヒーのポット。真空魔法瓶なので熱源無し一定時間保温できます。

8 リットルポット （別売り）・・・・・・・・・・・・ 8.0L コーヒーのポット。真空魔法瓶なので熱源無し一定時間保温できます。

ブルーイングコーン

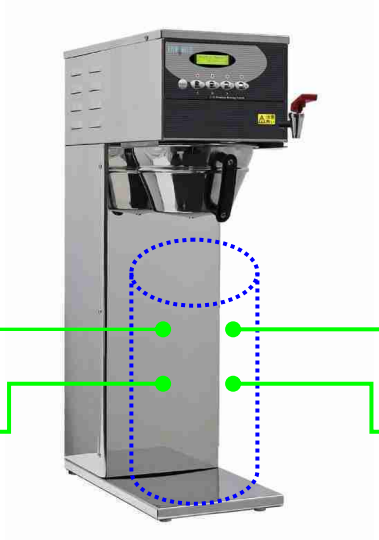
C-22 サーモブルーワーは、下記写真のように様々なポットで抽出する事が可能です。

2.5L ポット（別売り）

ﾓﾃﾞﾙ名： SYAH25

3.8L ポット（別売り）

ﾓﾃﾞﾙ名： TXSG01



5.6L ポット（別売り）

ﾓﾃﾞﾙ名： TXSG15

*置き台は外して抽出してください

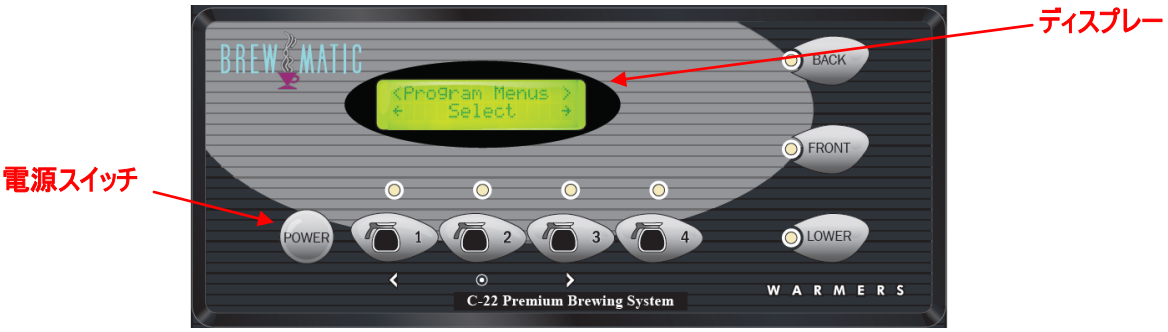
8.0L ポット（別売り）

ﾓﾃﾞﾙ名： SGCB 80

*置き台は外して抽出してください

1. 電源を入れる

本体正面操作パネルの POWER スイッチを押すとディスプレー（表示画面）が点灯します。



2. ウォームアップ

電源を ON にしますと、沸き上げを開始します。この時のディスプレーの表示は Heatingと表示されます。

タンク内設定温度（初期設定 92℃）に達するまで沸き上げを行います。「**」はタンク内の温度を表します。
沸き上げが完了すると、コーヒー抽出が可能になります。

この時のディスプレーの表示は

と表示されます。

初回沸き上げ時間の目安

C-22 200V　デカンタータイプ：　約 10 分
C-22 100V　デカンタータイプ：　約 35 分
C－22　サーモブルーワー　　：　約 20 分

抽出の手順

1. ブルーイングコーンにフィルターペーパーとコーヒー粉を入れて、マシンにセットして下さい。

1-1　新しいフィルターペーパーをブルーイングコーンにセットします。

1-2　抽出するボタンに合ったコーヒー粉を定量入れます。この時コーヒー粉を平らになじませて下さい。

1-3　準備したブルーイングコーンをマシンにセットします。

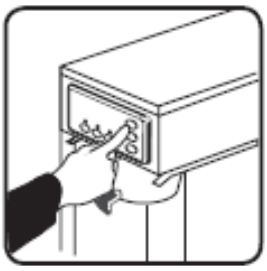
マシンにセットする時は、レールに沿って挿入して下さい。

2. 抽出ボタンを押す

抽出の開始

抽出スイッチ 1～4 から抽出するボタンを選択し、押します。

ボタン毎に設定した湯量でコーヒーを抽出します。



＊ C-22 サーモブルーワーには、ウォーマースイッチはありません

スタンバイ機能：　抽出ボタンを押してもタンク内温度が設定温度まで達していない場合、
湧き上がるまで抽出は開始されません。 設定温度まで沸き上がると自動的に抽出が開始致します。

抽出中

ディスプレーは、抽出中である事をお知らせするようにバックライトが点滅し、抽出完了までの残り時間と状況を交互に表示します。(**:**は設定された時間表示です。)

また、コーヒー抽出開始と同時にラッチ(コーンロック)機能の作動と下ウォーマーが自動的に入ります。

抽出の完了

ディスプレーは時間表示から Brew compleate と表示され、抽出の完了をお知らせる完了音が鳴ります。
同時にラッチ(コーンロック)機能を解除します。

ブルーイングコーンの抽出口からコーヒーが出ていないか確認して下さい。
コーヒーが出ていないようであれば抽出完了です。

抽出の停止 (キャンセル)

抽出ボタンを誤って押し、抽出してしまった場合やコーヒー粉を間違えて抽出した場合は、
電源ボタンを押す事で抽出を停止する事が出来ます。

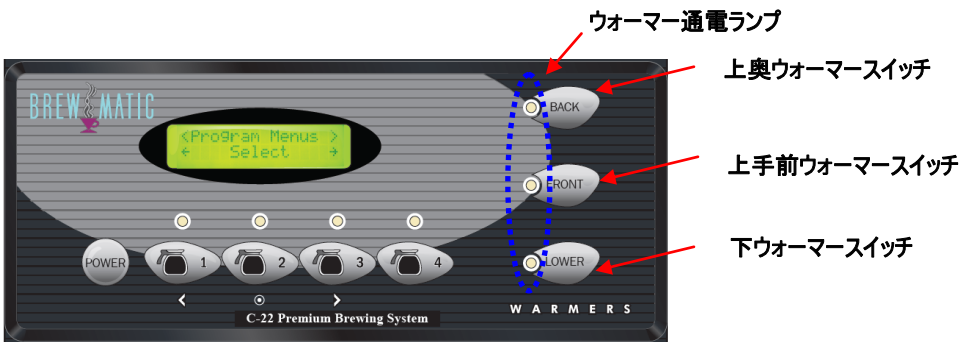
注意)抽出を途中で停止した場合は、ブルーイングコーンの中にお湯がまだ残っている事がございます。
そのまま引き抜きますと火傷の恐れが有りますので、ブルーイングコーンの抽出口から
コーヒーが出ていない事を確認してからブルーイングコーンを引き抜くようにして下さい

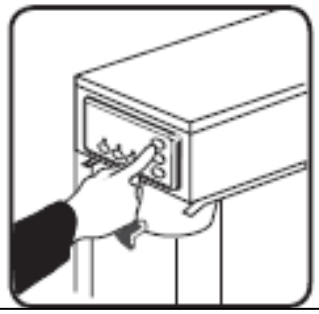
ウォーマー(保温プレート)の操作

※C-22 サーモブルーワーにはウォーマーはありません。

C-22 デキャンタシリーズは、抽出ボタンを押すと同時に自動で下ウォーマースイッチが入り保温します。

- 上手前や上奥ウォーマーは、各々のウォーマーボタンを押す事でボタン横のランプが点灯し、保温致します。
- 使用しない場合は、そのウォーマーボタンを押す事でランプは消灯し、OFF となります。





各ウォーマーボタンを押す事でスイッチを ON や OFF します。

ラッチ（コーンロック）機能

コーヒーマシンの抽出ボタンを押すと同時に**ラッチ（コーンロック）機能が作動いたします。**
これは、コーヒー抽出中に誤ってブルーイングコーンを抜けないようにする**安全装置**です。

抽出工程が終了しますと、**ラッチ（コーンロック）機能が自動的に解除**され、ブルーイングコーンが引き出せるようになります。

注意）　抽出中は、ラッチ（コーンロック）機能が作動しております。 ブルーイングコーンが抜けないからといって、無理矢理ブルーイングコーンを抜きますと機器が破損する恐れが有りますので、ご注意してください。

ラッチ（ロック）機能作動前

ラッチ（ロック）機能作動後

印の箇所より、抽出中ブルーイングコーンが引き抜けないよう コーンロックが作動します。
ラッチの位置は、C-22 デカンタータイプはブルーイングコーンの右側、C-22 サーモブルーワーは
ブルーイングコーンの左側にございます。

1. 電源を切る

本体正面操作パネルの POWER スイッチを押すとディスプレー（表示画面）が消灯します。

2. 清掃をする

・ブルーイングコーン、デキャンター又はステンレスデカンタ、ポットの洗浄を行なう。
・マシン本体・シャワーヘッド周辺を濡れた布巾等で拭き取る。

水漏れ故障がある場合は水道元栓を閉めてください。

操作パネル

電源スイッチ

※C-22 サーモブルーワーには、ウォーマースイッチがありません。

ボタン① ボタン② ボタン③ ボタン④

マシンをプログラムモードにします。

1. 電源スイッチを押してマシンの電源を OFF にします。
2. ボタン④を押しながら、電源スイッチを押すとディスプレーは次の表示になります。

Entering
Programming Mode

この表示になりましたら、電源スイッチを離し、ボタン④を押し続けます。

3. 押し続けるとディスプレー表示が下記のように変わり、コード番号入力の表示となります。

Enter Code
_ _ _ _

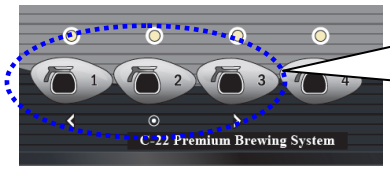
ボタン④を 4 回押して入力します。

※ ボタンの入力を間違えた場合は、電源ボタンを押して OFF にしてから、手順 2.からやり直してください。

4. ディスプレーが下記表記となり、プログラムモードに入ります。

Program Menus
← Select →

プログラムモードでは、設定や項目を切り替えるために抽出ボタン①, ②, ③のボタンで操作します。



抽出ボタン① ＜マーク ・・・・・項目左スクロール、数値の減少(-)
抽出ボタン② ◎マーク ・・・・・選択や決定、機能の保存
抽出ボタン③ ＞マーク ・・・・・項目右スクロール、数値の増加(+)

プログラミング項目　**Menu tree**

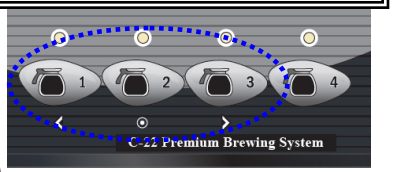
プログラムメニューの項目から選択してプログラム設定を行います。プログラム設定は下記の順序で移行します。

	項目	概要	
	Program Menus	プログラムモード初期画面	
↓			
1	Coffee by Volume	各ボタンを選択し、湯を抽出させ目視にて湯量設定を行います。	
↓			
2	Coffee by Time	各ボタンを選択し、湯量設定を Timer の数値増減で調整出来ます。	
↓			
3	Coffee Preinfusion	各ボタンに蒸らし抽出の設定を行います。 この項目を設定している時は、Pulse（間欠）抽出設定ができません。	
↓			
4	Coffee Pulse	各ボタン毎に間欠抽出の設定を行います。 この項目を設定している時は、Preinfusion（蒸らし）抽出設定ができません。	
↓			
5	Coffee Drip-Out	各ボタンの完成時間を調整。 抽出が止まった後、コーンの中にはまだコーヒーが溜まっております。 その溜まったコーヒーが落ちきるまでを調整します。	
↓			
6	Temperature	温度設定（℃） 80℃～94℃まで 1℃毎の増減が可能。 **標準設定は 92℃**	※
↓			
7	Energy Save Mode	標準設定は OFF です。 抽出後 4 時間何も押さない状態ですと自動的に OFF になる	※
↓			
8	Brew Count 0dom.	累計リッター数の表記 リセット可能	
↓			
9	Brew Count Total	累計リッター数の表記 リセット不可	
↓			
10	Master Reset	プログラムレシピを初期設定値へ戻す	※
↓			
11	Service Call	サービスエラー時に表示する番号などを入力できます。	※
↓			
12	Banner Name	ディスプレーに表示する名前などを入力できます。	
↓			
13	P-Maintenance	リッター数設定により、浄水器交換を促すアラームを出す。 当社浄水器ご使用の場合、20000 リッター設定しております。	※
↓			
14	Beeper On/Off	Beeper 音の On/Off 設定	
↓			
15	Disp1. Brew Time	ディスプレーに抽出中のカウントを表記の On/Off	
↓			
16	Quality timer	下ウォーマーのタイマー設定を行います。 C-22 サーモブルーワーの場合は、省略されます。	
↓			
17	Warmers setting	各ウォーマーの出力調整の設定をします。 標準設定は 90% C-22 サーモブルーワーの場合は、省略されます。	
↓			
18	Model select	この項目は、変更しないで下さい。 プログラムが初期の状態へ変更します。 マシンのモデルを選択します。	※
↓			
	Exit	プログラムモードの終了 プログラムモードから出て、通常使用の状態に戻ります。	

※印の箇所は、マシンの機能的な設定のため、弊社指定サービスマンが操作する項目となります。

Program menus ← Select →

プログラムメニューにして
ボタン①やボタン③にて項目を移行します。



ボタン① ＜マーク ・・・・・項目左スクロール、数値の減少(−)
ボタン② ◎マーク ・・・・・選択や決定、機能の保存
ボタン③ ＞マーク ・・・・・項目右スクロール、数値の増加(+)

1. Coffee by Volume

各ボタンの抽出量の設定を抽出させながら調整が出来ます。 この時、湯量を計測できる計量カップを用いて下さい。

ボタン②を押し、この項目を選択します。 ディスプレーは下記の表示となります。

Select Brew Button!	調整したいボタンを選択すると そのボタンのランプが点灯します。
Press BREW 0:00 to Start Time	左記表示となりましたら、もう 1 度調整するボタンを押すと抽出がスタートし、同時にタイマーカウントします。
Press BREW X:XX to Stop TIME	適量になりましたら、調整したボタンを押す事で抽出は停止します。 Complete ! と表示し、その設定湯量を記憶します。
Coffee by Volume ← Select →	ディスプレーは項目選択の表示に戻ります。 続けて他のボタンを調整する場合は、ボタン②を押します。

2. Coffee by Time

各ボタンの抽出量の設定をタイム設定にて調整が出来ます

ボタン②を押し、この項目を選択します。 ディスプレーは下記の表示となります。

Select Brew Button!	調整したいボタンを選択すると そのボタンのランプが点灯します。
Time X:XX ex ← Select →	・ディスプレー上に現在の設定時間が表示され、カーソルが点滅しています。 ・タイマーの数値を変更するには、ボタン①とボタン③でカーソルを移動させます。 ・カーソルをタイマーの変更する箇所に合わせ、ボタン②を押す事で数値が増加します。(長押しでも可) ・変更が終わりましたら、ボタン①やボタン③でカーソルを ex に合わせ、ボタン②を押し、設定したタイムを記憶します。
Coffee by Time ← Select →	ディスプレーは項目選択の表示に戻ります。 続けて他のボタンを調整する場合は、ボタン②を押します。

3. Coffee Preinfusion

各ボタンの蒸らし抽出機能の有無を設定できます。 **初期設定では OFF に設定しております。**

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- 調整したいボタンを選択します。
- ボタン①やボタン③を押す事で設定数値が増減します。 設定範囲は 10 秒毎で Off～60 秒までとなります。
  右の設定は、最初に 10 秒抽出して 10 秒間蒸らす抽出設定となります。
- 設定が完了しましたら、ボタン②を押し Saving Compete!と表示、記憶され項目選択の表示に戻ります。

10 sec On / 10 Off
← Select →

4. Pulse Brew

各ボタンの間欠抽出機能を調整できます。 **初期設定では OFF に設定しております。**

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- 調整したいボタンを選択します。
- まず始めにボタン①やボタン③を押し、間欠抽出する**パターン A～E** を選び、ボタン②で選択します。

パターン	
A	自動で、10 秒抽出、5 秒間蒸らす抽出設定。抽出完了まで繰り返す。
B	この機能は、将来的な機能なので使用しません。
C	自動で、25 秒抽出、10 秒蒸らす抽出設定。抽出完了まで繰り返す。
D	最初 30 秒抽出、その後の抽出と蒸らす秒数をマニュアルで設定します。 最大蒸らし回数 20 回。 ON/OFF の設定範囲＝5～150 秒
E	抽出、蒸らし時間をマニュアルで設定出来ます。 最大蒸らし回数は 24 回。 ON/OFF の設定範囲＝0～150 秒

- パターン D ・ E を選択した場合は、マニュアルで抽出と蒸らす秒数を下記の要領で設定します。

Pulse ＜1＞ Count
← Select →
間欠の 1 回目設定をします。 ボタン②を押します。

On ＜15s＞ Time
← Select →
抽出する秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。

Off ＜20s＞ Time
← Select →
蒸らす秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。

Pulse ＜2＞ Count
← Select →
間欠の 2 回目設定をします。 ボタン②を押します。

On ＜XXs＞ Time
← Select →
抽出する秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。
この操作を間欠抽出する回数分設定していきます。
ON time を 00 秒に設定するとその時点の回数で終了となりマシンに記憶します。

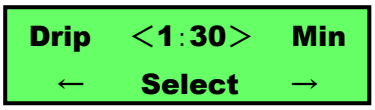
ボタン②を押して記憶され、ディスプレーは項目選択の表示に戻ります。

5. Coffee Drip-Out

各ボタンの完成時間を調整します。

完成時間とは:　抽出が終わった（電磁弁が閉じた）あと、ブルーイングコーンにはまだコーヒーが溜まっており、その溜まったコーヒーが落ちきるまでの時間のことです。

⚠ **注意）この時間を短く設定すると、ブルーイングコーンからまだコーヒーが落ちている最中にラッチ機能がが解除され、ブルーイングコーンを引き抜いた際に残った湯で火傷する恐れが有りますので、短く設定する事は避けて下さい。**

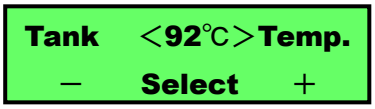


- ボタン②にてこの項目を選択します。
- 調整したいボタンを選択します。ディスプレーは右記表記となります。
- ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が 5 秒毎に増減します。
- 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

6. Temperature

タンク内の温度設定の調整が出来ます。 **初期設定値　92℃**

設定温度範囲　80℃～94℃まで設定が可能です。



- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ディスプレーに現在の設定温度が表示しています。
- ボタン①やボタン③を押す事で設定温度が1℃毎に増減します。
- 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

7. Energy Save Mode

エナジーセーブ機能の有無を設定出来ます。　**初期設定は OFF としています。**

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ディスプレーは下記表示となり、機能を表示します。
  ＜ Off ＞　　:エナジーセーブ機能を使用しない。
  ＜ On ＞　　:最後の抽出から何も押さない状態で4時間経過するとマシンは自動的にOFFとなります。
  ＜ On-60℃＞:最後の抽出から何も押さない状態で4時間経過するとマシンは自動的にOFFとなりますがタンク内の温度を 60℃に保つようヒーティングします。
- 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

8. Brew Count 0dom

マシンが稼働したトータルリッター数を表します。 カウントを初期状態（リセット）にする事ができ、再度 0 からスタートさせ経過リッター数を見る事が出来ます。

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ディスプレーは右記表示となり、現在のリッター数を表示します。
- その状態からボタン①とボタン③を押すとそのモードから出ます。
- リセット（0 に）する場合は、ボタン②を押します。
- 選択した機能が実行され項目選択の表示に戻ります。

9. Brew Count Total

マシンが稼働したトータルリッター数を表します。 カウントを初期状態（リセット）にする事ができません。

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ディスプレーはマシンが稼働した Total（累積）のリッター数が表示します。
- 再びボタン②を押しますと、項目選択の表示に戻ります。

10. Master Reset

設定したプログラムレシピを工場出荷状態へ戻す事が出来ます。

11. Service Call

サービスエラーが発生した時にディスプレー表示に番号などを表示する事が出来ます。

12. Banner Name

設定しますと、マシン OFF や待機中のディスプレー表示に入力した文字を表示する事が出来ます。

13. P-Maintenance 当社浄水器をご使用の場合、推奨交換時期である 20,000 リッターで設定しています。

リッター数設定により、設定したリッター数に到達した場合、ディスプレー表示にてお知らせします。

14. Beeper On/Off

ボタンを押した時や抽出完了時等の Beep 音の有無を選択できます。

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ボタン①やボタン③で On（機能させる）, Off（機能させない）を切り替えます。
- ボタン②にて切り替えた機能を実行させ、項目選択の表示に戻ります。

15. Disp1. Brew Time

ディスプレーに抽出時のカウントアップタイマー表示の有無を選択できます。

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ボタン①やボタン③で On（機能させる）, Off（機能させない）を切り替えます。
- ボタン②にて切り替えた機能を実行させ、項目選択の表示に戻ります。

16. Quality Timer

下ウォーマーのみにウォーマータイマーを設定します。 **標準設定　30 分**

設定範囲　Off, 20 分～120 分

（OFF の場合は、ウォーマータイマーは作動せず、ウォーマースイッチを ON にすると加熱を続けます。）

ボタン②にてこの項目を選択します。

Time ＜ 30 ＞ Min
－ Select ＋

- ディスプレーは右記表記となります。
- ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が 10 分毎に増減します。
- 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

タイマーが作動すると　右記表示で点滅し下ウォーマーの加熱は続けます。

解除するには、下ウォーマーを切るか、新たに準備し抽出ボタンを押します。

Brew Fresh Coffee
Ready To Brew

17. Warmers settings

各ウォーマーの出力設定が出来ます。 **標準設定　90%**

この機能は最適な保管温度を保つようにコントロール基盤にて、ウォーマー電源の ON、OFF を繰り返し、温度制御させる機能です。

設定範囲　50%～100%

Select Warmer Button!

⇩ 設定するウォーマーボタンを押す

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- ディスプレーは右記表記となります。
- 設定したいウォーマーボタンを押します。
- 現在の設定値　%が表示しますので、ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が 1%毎に増減します。
- 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

Power ＜ 90 ＞ %
－ Select ＋

18. Model select

マシンのモデルを選択

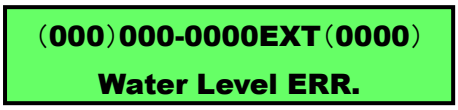
⚠ **注意）　モデル選択は、出荷時にモデルを設定して出荷しています。**
モデルの変更を行った場合は、設定しているプログラムレシピが初期化（リセット）されますので、
変更行わないで下さい。

全ての設定が完了しましたら、項目を EXIT に合わせ、ボタン②を押してプログラムモードを抜けます。
プログラムモードを抜けますと通常使用のディスプレーの状態に戻ります。

エラー表示

C-22 シリーズは不具合発生時、ディスプレーにエラーが表示されると共に音が鳴り、ディスプレーバックライトが点滅します。

1. 給水異常のアラーム表示



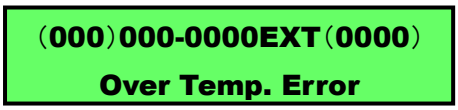
原因: 初回給水時にタンク満水までにかかる時間が 10 分以上経過した。
もしくは、通常使用中の給水時に 1 分 26 秒以上経過した場合にこのエラーは表示します。

処置: 給水元栓が閉まっていないか確認して下さい。
マシン後ろ側から接続する給水ホースが折れ曲がっていないか確認して下さい。

2. 温度センサー感知異常のアラーム表示

原因: 温度センサーがタンク温度を感知できない。
処置: 一度マシン背面下位置の主電源スイッチを OFF にして、ON にして下さい。
解決しない場合は、ご使用を止め、弊社コールセンターにご連絡下さい。

3. 過剰温度検知のアラーム表示



原因: 温度センサーが 98℃以上を感知しました。
処置: 一度マシン背面下位置の主電源スイッチを OFF にして、ON にして下さい。
解決しない場合は、ご使用を止め、弊社コールセンターにご連絡下さい。

故障かな？（お問い合わせや修理を依頼される前にご確認を。）

こんな場合は	ここが原因	直し方
ボタンを押しても通電しない	主電源スイッチが入っていない	主電源スイッチ（背面）を上に押し、全面の POWER スイッチを押す
	ブレーカーが落ちている	ブレーカーを入れる 復旧しない場合、サービスへ連絡
抽出量が不安定	抽出量設定が不適切	各抽出ボタンの量設定を行う
	給水が遅い、水圧が低い	給水バルブを全開に開く
	給水ホースが折れている	給水ホースの折れを直す
	シャワーヘッドが付いていない	シャワーヘッドを取り付ける
	スケールが固着した	サービスへ連絡
コーヒーがペーパーフィルターやバスケットからあふれる	バスケットが付いていない	バスケットを取り付ける
	シャワーヘッドが付いていない	シャワーヘッドを取り付ける
	ペーパーフィルターのサイズが小さい	標準サイズ：フィルター330 を使用する ペーパーフィルター1 枚で使用する
	ペーパーフィルターを数枚重ねた	
	コーヒー粉の入れすぎ	規定の粉量を使用する
コーヒーがぬるい	Quality Timer が作動した	下ウォーマーのスイッチを入れる
	ガラスデカンタフタが付いてない	ガラスデカンタのフタを付ける
	湯せんしていない	ステンレスデカンタやポットは湯せんをしてください。（空抽出）
	ウォーマー出力が低い	ウォーマー出力設定（Warmers settings）を確認（標準は 90%）
	エアコンの風や冷えた外気が当たる	ウォーマー出力を 100%に設定する。冷えた風を遮断するか、設置場所を変える
給湯フォーセットから湯が漏れる	パッキンの消耗	パッキンを交換する
シャワーヘッドから水漏れ	ダイヤフラムの消耗 スケールが固着した	サービスへ連絡
オーバーフローから水漏れ	部品トラブル	POWER を切る
	給水電磁弁に異物が挟まった	給水バルブを閉める
エラー表示	Water Level ERR. Sensor Error Over Temp.Error	前ページ P24 を参考に対応

保証とアフターサービス

1.保証書

●本書に添付しています。

●保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

●保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、コーヒーマシンが直らないときは電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3.アフターサービスについてご不明な場合

●アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。	
●お名前	●商品名　ブルーマチック社製　C-22シリーズ
●ご住所	●製造番号
●電話番号	●故障の症状、状況（出来るだけ詳しく）

修理相談窓口　ブルーマチックジャパン株式会社　　横浜：(045)947-0804　大阪：(06)6531-1333

受付時間（平日：8:00～18:00　土曜、日曜日：9:00～17:00　左記時間外：留守番電話）

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー抽出口や容器の洗浄をそれぞれ適切に行なってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い自動洗浄を行ってください。

洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管をして下さい。

必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使い下さい。

また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケールが発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡下さい。

コーヒーマシン　保証書

形　　名	ブルーマチック社製 C-22シリーズ
製 品 番 号	C-22 200V No. 20000 / C-22 100V No. 20001 / C-22 サーモブルーワー No. 20002
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お買い上げ日	年　　月　　日
お客様お名前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

<u>無料修理規定</u>

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1　取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保障期間内に万一故障をした場合には故障箇所の無料修理を行ないます。

2　保障期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。

3　次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。

(1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してあるとおりの使用をしなかった場合。

(2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠ったことが原因で発生した故障や損傷。

(3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障や損傷。

(4) 販売店以外で修理、改造などを行なったことが原因で発生した故障と損傷。

(5) 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。

(6) 火災、水害、地震などの天災地変、塩害、公害、異常電圧、過電流など外部要因による故障及び損傷。

(7) 落下、転倒、水濡れ、打撲や本体内部の基盤が破損変形したことなどによる故障及び損傷。

(8) 車両などに搭載して使用したり、移動後に発生した故障及び損傷。

(9) 保証書の提示が無い場合、および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。

(10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。

4　本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5　本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＊この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって, お客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合は当社にお問合せ下さい。

＊保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

＊お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

＊本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店　**ブルーマチックジャパン株式会社**

神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-13

ブルーマチックジャパン株式会社
本社:　　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-5-13
大阪(営):大阪府西区阿波座 1-9-9 1F

072910